

第626号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



たかぎ

発行日 2021年5月17日
 発行責任者 喬木村公民館長 市瀬 徹
 編集責任者 公民館編集部 仲田 久志
 印刷 龍共印刷株式会社

いごも学遊館活動紹介

みんな来ててくださいね



学遊館 館長 賜 美和

昨年四月より子ども学遊館長を務めさせて頂いております。この一年、コロナ禍ではありましたが、すばらしい環境の中で、すばらしい施設が整い、今までの職員の皆様が築き上げて下さった学遊館の活動を壊さぬよう、さらにパワーアップできればと努めて参りました。

九時～二時の子育てひろ

ばでは、ご家族に見守られる中で、〇～三歳児がやりたい事に夢中になって遊ぶ姿に癒される毎日。季節毎の行事やイベントを通して、子ども達の成長する姿を沢山見させて頂きました。

今年度も三歳までの大切な親子の時間を楽しんでくれるよう様々な企画を考えています。



季節の行事を楽しむ親子の皆さん

新しく来ました

新任校長先生紹介



第一小学校長 福澤 則雄

今年度より喬木第一小学校でお世話になります。

ご紹介します。密にならないうような注意し、勉強に遊びに自ら考えて過ごす子ども達。地域の皆様には野菜やお花を頂いたり、支えてもらって過ごしています。

将棋や物作り等、得意な事を教えて下さる地域の方にも遊びに来て頂けたら嬉しいです。是非のぞきに來て下さい。

また、喬木村の全ての子ども達を対象に学遊館広場を開催し、様々な体験を積めるよう、土日の居場所作りも行っています。昨年は阿高区会の皆様のご協力

福澤則雄と申します。この春私は、大相撲三月場所ので優勝した照ノ富士関と、水泳の池江璃花子選手に心を動かされました。どん底から這い上がったお二人です。そこで、一学期の始業式で次のようなお話をしました。

「力一杯、今を生きて。まずは一人一人が簡単にあきらめないで思いっきりやってみる。そして、その気持ちや姿を互いに認め、支え、後押しし合う。みんなで、力一杯、今を生きて。自分も、そうあるように精進したいと思います。」

新型コロナウイルスの接種券が届いた。六十五歳以上の高齢者は五月十日から予約ができ、待ちに待ったワクチン接種が二十四日から始まる。副反応への心配は消えないが、私は十日には予約を入れ、できるだけ早く接種しようと考えている。

あの時

すでにワクチン接種が始まったところもあるが、限られたワクチンに予約が殺到し、クレーム対応に追われているという。対象者の人数と用意できるワクチンの数を考え、早い者勝ちで奪い合うような事態にならないよう、年齢を指定したり地区を絞ったりして、順番に接種していくような工夫をする必要がある。変な公平性、平等意識が問題を大きくしていると思ってしまう。

東日本大震災の時、支援物資を受け取るために、整然と列をつくって順番を待つ被災者たちに、諸外国は驚いた。日本には「自分さえよければいい」という文化はないはずだ。同じ運命にあるものを、譲り合ったり分け合ったりして、一緒に乗り越えていく風土があったはずだ。小池都知事は「感染が拡大している都会を優先し、ワクチン接種をしてほしい」と政府に申し入れた。燃え盛る火を消すために、大都市から接種するやり方も私はありだと思ふ。やっと始まるワクチン接種、理に適った接種方法を考え、きちんと説明しさえすれば、ワクチン接種は整然と進むと思ふ。

今年四月から、たかぎスポーツクラブでフラメンコを始めました。(アスボのスタジオで、毎週土曜日 夜七時～八時半)

フラメンコを踊ってみませんか

たかぎスポーツクラブ 田平 亜記子



「フラメンコ」と聞くと、華やかで真つ赤なバラをくわえて情熱的に踊るスペインを思い出す人もいるのではないのでしょうか?でもあまり馴染みがなく、敷居が高い、難しくて踊れそうにないと思われの方も多いかもかもしれません。しかし、スペインでは、私たち日本人が親しんでいる盆踊りのように、祝い事などでギターの音と共に踊り出してしまうような民族舞踊です。盆踊りや民謡を踊る感覚で、遠いスペインに思いをはせながら楽しくフラメンコを踊ってみませんか?

健康でいつまでも元気でい



練習に励む参加者の皆さん

今年度よりお世話になります。私は、下伊那の地は初めてではありません。三年前までの三年間、大鹿中学校に教頭として勤務しておりましたので、下伊那北部地域の学校へは会議や研修会等で訪れておりました。着任式の折にもお話をしましたが、三年前の平成三〇年にこの喬木中学校で行われた、関東甲信越地区中学校校技術・家庭科研究大会長野大会の技術の研究授業のために幾度か喬木中学校を訪れていました。それ

から、あきらめずにやってみるのではないかと思ふのです。だから人はひとりではなく、みんなが生活をしていくのではないのかと思ふくらいです。

本校の学校教育目標は、「力一杯、今を生きて。」です。まずは一人一人が簡単にあきらめないで思いっきりやってみる。そして、その気持ちや姿を互いに認め、支え、後押しし合う。みんなで、力一杯、今を生きて。自分も、そうあるように精進したいと思います。

お花見ウォーキングを実施して

北分館女性部



今年の春は驚くほど早く花々が咲き、たちまち里の桜も葉桜となり、山々の新緑が美しい季節を迎えています。

北分館女性部では、コロナ対策を万全にしたうえで四月四日にお花見ウォーキングを実施しました。安養寺境内で十時から十一時の間に随時受付をし、手指消毒、検温を済ませグループごと三々五々出発します。マスクを着用し会話は少な目にソーシャル

ディスタンスを保ちながら、安養寺↓第一公民館の桜↓北保育園の桜↓西の宮の桜↓アルプスの丘公園の桜↓小中学校の桜のトンネル↓中原児童公園↓安養寺のコースで歩きました。戻られた方に参加賞を渡して随時解散です。

当日の天気予報は降水確率八〇%でした。雨は大丈夫だろうか？参加者は集まってもらえるだろうか？用意した寄せ植えが余ってしまっているのではないかと心配し

謝です。

参加者の皆さんから「何十年ぶりにこの場所に来て懐かしかった」「アルプスの丘から見た景色が素晴らしかった」「小中学校の桜のトンネルの桜吹雪も良かった」などの声をいただきました。参加賞の寄せ植えも好評でした。

また、九時半を過ぎた頃より参加者が集まり始めました。参加者は、お友達、親子、夫婦、三世代、ご近所さんなど様々でした。桜のピークは過ぎてしまいましたが、花桃、レンギョウ、チューリップ、菜の花などいろいろな花々と、段丘の素晴らしい景色が参加者を迎えてくれました。ウォーキングが終了する頃より雨がぱつぱつと降り出しました。お天気の神様に感謝です。



代表選手の皆さん

選手、開催に感謝!!

第30回長野県市町村対抗駅伝競走大会 第16回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会

大会が、松本市松本平広域公園陸上競技場にて開催されました。

一般の部は、中学生から一般の選手九名と、控への選手合わせて十三名で参加しました。陸上競技場をスタートし、全長四十三・七八五kmを九名でたすきをつなぎました。小学生の部は、選手四名と控への選手合わせて六名で参加しました。松本平広域公園陸上競技場の周回コース全長六・一kmを四人でたすきをつなぎました。

当日は暖かい陽気に包まれた晴天の中、たすきをつなぐために精一杯の力を発揮してくれました。選手の皆様、また、保護者をはじめご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

二年分の思いをこめて

羽生彩華

四月二十四日に第三十回市町村対抗が松本市で開催されました。昨年は中止でしたが、今年は二年分の思いをこめて参加できて、とても嬉しかったです。

駅伝の楽しみは仲間でのたすきをつなぐことです。この駅伝では、同じ市町村に住む中学生から大人まで男女混合でチームが作られていて、そこがおもしろいと思います。村のユニフォームに着替えて村のほり旗を見ると、喬木村のみんなが応援してくれているような気持ちになりました。私は今年六区を走りました。一般女子の区間で、競技場からアルウィンまでの三、二五kmです。最後の角を曲がってから直線コースが苦しくて厳しかったですが、一区から五区まで頑張つてつなぐことができました。次へつなぐという強い思いで、最後まで力一杯走り切ることができました。一人一人が全力で走り、たすき



小学生駅伝 1区 森山選手

2区 香山選手



3区 松澤選手

4区 平澤選手

編集後記

昨年この時期に、新型コロナウイルス感染症拡大の内容に触れて記事を起こした事を思い出した。今頃は終息の道筋が示され、かつての生活が取り戻されていることを切望していた。残念ながら、依然として暗中模索といったところである。様々な行事がコロナを理由に中止され、冠婚葬祭にまでそれは及んでいる。近所・親戚の付き合いも、不義理の押し付けをする者まで現れる始末。その流れは二〇二〇東京オリンピック・パラリンピックにも影を落としている。かつての日本人は、困難に耐え忍び、決めたことは皆で丸となって取り組む協調性を兼ね備えていた。時代の変化に適応することは大切だが、時代が変われば何でも変わって良いという風潮は、危険に思えて仕方がない。

喬木短歌会 卯月歌会詠草

女孫が今日卒業できた喜びを
亡夫に告げんと朝の経読む 小椋 りよ

色褪せし父母の写真に遺りいる
八手の古木今は枯れたり 知久 美子

ゆき柳花桃ムスカリチューリップ
堰切りしごと咲き始めたり 内山 和子

嫁に来て人並み以上苦勞ありて
この家守りし義母を偲びぬ 内山 貴子

牛乳にレモン加へたドリンクは
骨密度上がると嬉しきニュース 元島 康子

隣家の希望ちゃん訊ぬ「おばちゃんいくつ」
春の野路をお手をつないで 田中 妙子

楽しみに毎年作りし苗床も
今年は断念山田を眺む 木下 寿子

山笑ふ季節となるも巷には
コロナ禍の波またも押し寄せ 市瀬 准子

水仙の群れて咲きゐる花畑に
今年も良きことあるを願ひぬ 関島 春子

粗皮けずりされて清しき柿畑を
見れば切なし無力となりて 木林 睦枝

逃げ水のごと繰り返すコロナ禍の
緊急事態四波となりぬ 福澤 亀人

駅伝メンバー【一般】 13名

区間	走者	備考
1区 2.03km	中学女子 大島 花心	喬木中3年
2区 3.025	中学男子 牧内 宇龍	喬木中1年
3区 5.72	一般男子 知久宗一郎	名古屋調理師専門学校
4区 6.205	一般男子 原 怜哉	夏目光学
5区 6.12	一般男子 市岡 尊	喬木村役場
6区 3.125	一般女子 / 中学生女子可 羽生 彩華	喬木中3年
7区 2.595	中学男子 新井 大誠	喬木中2年
8区 7.98	一般男子 伊東 俊	喬木中央保育園
9区 6.985	一般男子 吉津 貴義	中部電力
補欠	中学女子 内山 優月	喬木中3年
補欠	中学男子 昼神 歩陸	喬木中1年
補欠	中学男子 近藤 紫矢	喬木中1年
補欠	一般男子 小原 拓弥	喬木村役場

【結果】一般の部 34位 3:07:25

駅伝メンバー【小学生駅伝】 6名

区間	性別	登録氏名	備考
1区 1.6km	女子	森山 桜香	喬木第一小6年
2区 1.5km	男子	香山 魁録	喬木第一小6年
3区 1.5km	女子	松澤 紗采	喬木第一小6年
4区 1.5km	男子	平澤 巧樞	喬木第一小6年
補欠	男子	中平 瑛太	喬木第一小5年
補欠	女子	木下里依紗	喬木第一小5年

【結果】小学生の部 41位 26:36



一般の部 1区 大島選手